



平成21年3月31日

平成21年度「アジア人財資金構想」高度専門留學生育成事業（経済産業省・文部科学省） —「日本の食の安全」人財育成プログラム—の採択の記者発表について

1. 日 時：平成21年4月1日（水）13：30～14：30
2. 場 所：香川大学 研究交流棟5階「研究者交流スペース」（香川県高松市幸町1-1）
3. 出席予定者： 香川大学副学長・理事 阿部 文雄
香川大学農学研究科長 田島 茂行
香川大学農学研究科教授 田村 啓敏
四国経済産業局人材政策課長 牧野 好一 氏
四国経済産業局人材政策課 産業人材企画係長 大山 由佳 氏

4. 事業内容ならびに目的

本学が所在する四国地域には冷凍食品産業が多く、日本冷凍食品協会員事業所では、工場あたりの生産量も全国平均を上回る規模の大きい事業所が点在している。特に香川県の冷凍調理食品の製造品出荷額は、857億円で全国一位となっている。（「工業統計からみた香川県内における冷凍食品産業」（平成18年）から）

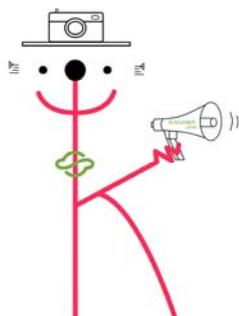
このような生産性の高い地域であることから、地域社会をリードする知の拠点である香川大学が主体となり、冷凍食品を扱う企業や海外展開する日系食品企業とコンソーシアムを形成し、「日本の食の安全」の観点から、留学生に対して食料の育成・収穫・加工・流通・販売に至る総合的な食の安全向上能力を体系的に身につけさせ、日本語能力や日本文化をも正しく理解した優秀な国際人であり、且つ企業幹部となりうる人材を育成する事業である。

また、本事業は、企業と大学が一丸となって、一般消費者の信頼回復と安全性向上の観点から国際的にも活躍できる人材の養成に努める「専門教育プログラム」の開発を行うことであり、その波及効果として留学生を通じてアジア地域全体、或いは世界標準としての「日本の食の安全」を広く浸透させることにも繋がるものであり、国民の福祉・生活を守る意味でも非常に意義深いものである。

【コンソーシアム組織】

プログラム管理法人・実施大学：国立大学法人 香川大学（農学研究科）

プログラム実施民間企業等：味の素冷凍食品株式会社、伊勢丸食品株式会社、株式会社オープン、株式会社加ト吉（JTグループ）、株式会社ニチレイフーズ、日本食研株式会社、株式会社ハマダフードシステム、株式会社ホワイトフーズ



➤ 問い合わせ先

香川大学教育・学生支援室留学生グループ 担当：藤川
TEL：087-832-1193 FAX：087-832-1155
香川大学広報センター
TEL：087-832-1027